

策定に当たって

計画策定の趣旨

県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、2012(平成24)年に「かながわグランドデザイン基本構想」(以下、「基本構想」という。)及び「かながわグランドデザイン実施計画」(以下、「実施計画」という。)を策定し、確実に到来する超高齢社会への備えや、2011(平成23)年3月に発生した東日本大震災の教訓を生かした防災対策の強化など様々な課題への対応を着実に進めてきました。

2014(平成26)年度に「実施計画」の最終年度を迎えたことから、総合的な点検を行った結果、少子高齢化や情報化など動きはあるものの「基本構想」策定時の社会環境と比べ大きな変化は見られませんでした。そうしたことから、引き続き現行の「基本構想」の方向性に沿って取り組みを進めることとし、第2期の「実施計画」を策定しました。

計画の性格と役割

「実施計画」は、2025(平成37)年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2015(平成27)～2018(平成30)年度の4年間に取り組む政策を示したものです。

県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめた「主要施策・計画推進編」と重点政策を分野横断的にまとめ、ねらいや具体的な取組み、工程などを示した「プロジェクト編」で構成しています。

「実施計画」を示すことにより、県民、NPO、企業、団体、市町村などと、県の政策について、情報や目的の共有化を図り、県民総力戦による取り組みを進めます。

基本構想

▼基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

▼神奈川県の将来像

- 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
- いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
- 県民総力戦で創る神奈川

▼政策の基本方向

- 政策展開の基本的視点
- 政策分野別の基本方向
- 地域づくりの基本方向



第1期実施計画

▼プロジェクト編

- 柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換
- 柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり
- 柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり
- 柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり
- 柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり
- 柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出

▼主要施策・計画推進編

- 主要施策(政策分野別の体系/地域別の体系)
- 計画推進

第2期実施計画

▼プロジェクト編(重点政策)

- 柱Ⅰ 健康長寿
- 柱Ⅱ 経済のエンジン
- 柱Ⅲ 安全・安心
- 柱Ⅳ ひとのチカラ
- 柱Ⅴ まちづくり
- 神奈川の戦略
- 計画推進のための行政運営
- プロジェクトの数値目標
- プロジェクトと主要施策との関係
- 神奈川をとりまく状況

▼主要施策・計画推進編(政策の包括的な全体像)

- 主要施策(政策分野別の体系/地域別の体系)
- 計画推進



プロジェクト編



主要施策・計画推進編



概要版

2007

2011

2012

2014

神奈川力構想
基本構想
実施計画策定

東日本大震災の
発生

かながわ
グランドデザイン
基本構想
実施計画策定

第1期実施計画

2015

2018

2020

2025

第2期実施計画

めざすべき
4年後の姿

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
競技大会

いのち輝く
マグネット
神奈川の実現

計画策定の主な背景

第1期の「実施計画」を策定した平成24(2012)年前後の社会的背景と比べ、次の項目がより鮮明になってきました。

①人口構造の変化

日本に、世界が経験したことのない超高齢社会が到来する中、神奈川では、全国で一、二を争うスピードで高齢化が進んでいます。また、全国的に少子化が進展し、これまでの人口が増加する社会から人口が減少する社会へと転換期を迎えました。

そうしたことから、国は若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるための取り組みなどを進め始めました。

本県でも、総人口は2018(平成30)年をピークに、その後減少することが見込まれています。そのため、最先端医療・最新技術の追求や未病を治すことにより健康寿命を延伸する取り組みなどが求められています。そこで、本県では「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みを行っています。また、県内にはすでに人口減少が始まっている地域があり地域活性化などの対策も求められています。

②産業・経済の状況

ICT(情報通信技術)は生活や経済行動に欠かせないインフラとして定着しており、様々な企業や行政機関でビッグデータを活用する動きが活発化しています。また、東京

2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオリンピック・セーリング競技の会場が県内に決定するなど、国内外からの観光客誘客の取組みが一層求められています。さらに、「国家戦略特区」や「京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区」、「さがみロボット産業特区」の3つの特区の指定を受け、これらを活用し、経済のエンジンを回していくことも求められています。

③犯罪・災害の状況

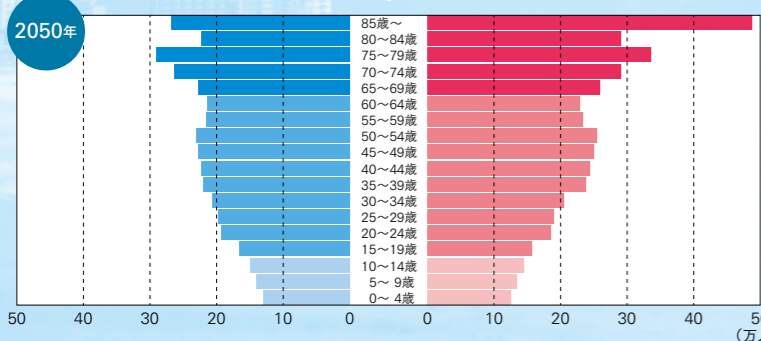
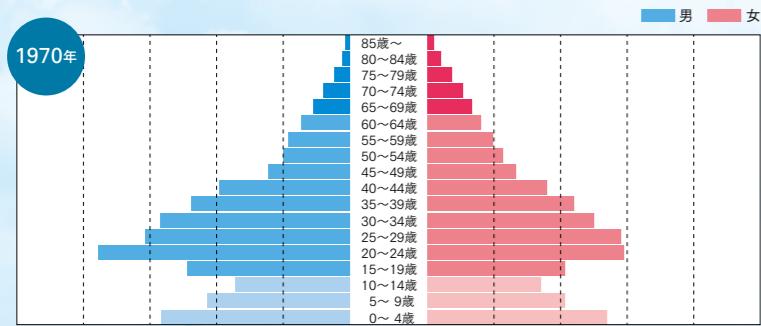
国が公表した新たな津波断層モデルを踏まえ、本県の津波による浸水予測の見直しを行いました。

土砂災害や火山災害など自然災害への脅威が高まっており、あらためて減災のための取組みが求められています。また、高齢者をねらった詐欺やサイバー犯罪、二輪車による交通事故なども多発しており、身近な犯罪や事故への的確な対応も求められています。

④ひとを巡る様々な状況

場所にとらわれない多様で柔軟な働き方が選択できる社会を実現し、女性が社会に進出することや、少子高齢化社会に

● 神奈川の人口ピラミッドの変化



● ヘルスケア・ニューフロンティア

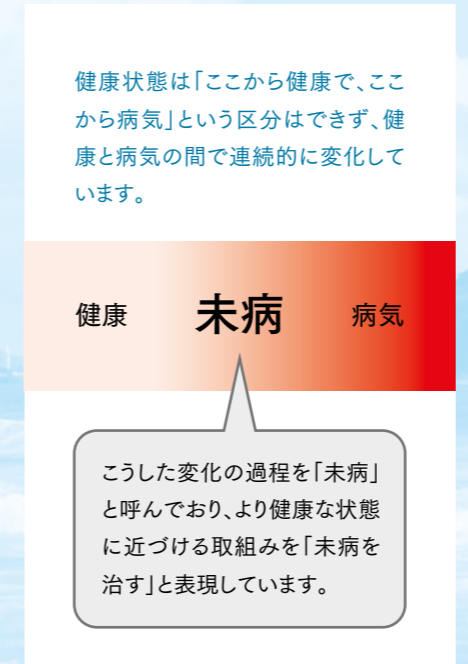


おける労働力の確保、男性の育児参加などを促進していくことが求められています。また、県内でも子どもをめぐる痛ましい事件があり、改めて関係機関が連携して子どもを守る取組みが求められています。さらに、全国的に子どもの貧困問題が浮き彫りになり、貧困の連鎖を断ち切る取組みも求められています。

⑤生活環境・自然環境

羽田空港の国際線発着枠が増枠するなど諸外国との交流が一層活発になっています。県内には、多くの外国籍県民が住んでおり、その国籍は160か国にも及びます。また、さがみ縦貫道路が全線開通し、交通ネットワークの充実が進みました。さらに、地球温暖化に伴う課題や、二酸化炭素排出量の増加、水源かん養機能や生物多様性の確保に係る課題など、様々な環境問題への対応も求められています。

● 未病を治す



めざすべき4年後の姿

社会的背景を踏まえて、実施計画に記載しているプロジェクト等に取り組むことにより、次に掲げる「神奈川の4年後の姿」を実現し、世界の中で存在感を発揮します。

▶ 未病を治し健康長寿の神奈川

未病を治し、高齢になっても誰もが生き生きと健康に暮らし、長生きできる神奈川を実現します。

→ 柱Ⅰ「健康長寿」

▶ 経済のエンジンによる活力あふれる神奈川

最先端技術の集積、3つの特区の活用、観光プロモーションの強化などにより、経済のエンジンを回し、活力あふれる神奈川を実現します。

→ 柱Ⅱ「経済のエンジン」

▶ 安全で安心してらせる神奈川

地震や津波などの災害や犯罪、交通事故などへの対策をより一層強化し、県民のいのちを守り、安全で安心してらせる神奈川を実現します。

→ 柱Ⅲ「安全・安心」

▶ ひとのチカラを最大限に生かす神奈川

年齢や性別に関わらず誰もがそのチカラを最大限に発揮し、一人ひとりが輝く神奈川を実現します。

→ 柱Ⅳ「ひとのチカラ」

▶ 個性が輝き魅力あふれる神奈川

地域の個性が輝き、自然環境など人を引きつける魅力にあふれた神奈川を実現します。

→ 柱Ⅴ「まちづくり」